

平成27年度 企画政策部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(企画政策部関係分)

政策 05 都 市 基 盤	政策展開の方向性																											
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。																											
	平成27年度の取組状況報告 (前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載)																											
	05-01 市街地整備の推進																											
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランに基づき、「駅を中心とした集約型都市構造」「地域経済の活性化」「災害に強い安全・安心な都市環境」「江別市の特性を活かした魅力ある都市」を都市づくりの目標とし、土地利用や都市施設の整備などを進めました。その目標実現に向け、関係機関と協議調整を進めるとともに、各関連個別計画を推進しました。成果目標である「市街地整備に満足している市民割合」は、7割を超える水準を保っています。 ・高齢者の住み替えを支援し、子育て世代の移住を進めるため、住み替えニーズの把握と住み替え先の整備に向けた取組を進めました。平成27年度は、大麻地区での住み替え相談に対する窓口の運営や住まいのセミナー開催、ニューズレターによる情報発信などを行いました。 ・駅周辺の安全性・快適性を向上させ、駅周辺のバリアフリー化を促進するため、引き続き野幌駅・江別駅周辺の交通施設の整備状況に合わせて駅周辺のバリアフリー化を関係機関等とともに進めました。成果指標である「市街地整備に満足している市民割合」は微増となっており、段階的な取組が反映されていると考えられます。 																											
	05-02 交通環境の充実																											
	平成27年度は、バスマップの配布など情報提供による利用者促進に取り組み、またバス路線の再構築の検討に向けた実証運行を実施しました。進捗状況のバス輸送人員は増加しておりますが、今後も減便や路線の廃止などが懸念されることから、駅を中心としたバス路線の再構築など利便性の確保に向けた早急な検討が必要です。																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)</td> <td>%</td> <td>76.7</td> <td>77.1</td> <td>77.6</td> <td></td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)</td> <td>%</td> <td>57.9</td> <td>60.8</td> <td>64.2</td> <td></td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	76.7	77.1	77.6		↗	交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	57.9	60.8	64.2		↗
	政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標																					
	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	76.7	77.1	77.6		↗																					
交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	57.9	60.8	64.2		↗																						
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況																												
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「大麻地区住環境活性化事業」 住まい相談件数</td> <td>件</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>5</td> <td></td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員</td> <td>千人</td> <td>548</td> <td>523</td> <td>554</td> <td></td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>							「大麻地区住環境活性化事業」 住まい相談件数	件	3	7	5		↗	「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員	千人	548	523	554		→								
「大麻地区住環境活性化事業」 住まい相談件数	件	3	7	5		↗																						
「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員	千人	548	523	554		→																						

政策 08 協 働	政策展開の方向性							
	江別市自治基本条例の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携して魅力ある協働のまちづくりを推進します。また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を進め、在住外国人とも協力し合うなど、国際交流を推進します。							
	平成27年度 of 取組状況報告 （前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載）							
	08-01 協働のまちづくりの推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と地域の連携を進めるため、大学教員や学生の地域課題研究及び地域活動に対し支援を行い、補助事業本数は順調に増加しております。また、大学の持つ専門知識の地域還元を目的に、大学教員による地域での出前講座実施を支援したほか、若者の地域定着への取組として、市内4大学や近隣自治体等と学生地域定着推進広域連携協議会を組織し、学生の地域活動への参加を働きかけたと共に、試行事業を実施しました。 ・友好都市土佐市との交流事業では、小中学生相互交流派遣事業を引き続き実施しました。さらに、市民団体と協力し、特産品の物販イベントを2年ぶりに土佐、江別両市で開催したことで、両市民の友好を深めることができました。 							
	08-02 国際交流の推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内国際交流団体が加盟する江別市国際交流推進協議会と協力し、姉妹都市グレスヤム市との中高生相互交流を実施するなど、市民の国際交流理解向上を推進する事業を継続して実施しました。 ・国際交流員が中心となり、国際センターでの「冬の集い」や「幼児向け英語体験」など、隣接する「市民活動センター・あい」や「子育てひろば・ほこあぼこ」との新たな共同イベントを企画、実施したことにより、成果指標である地域国際化のための講座・イベント等への参加者数は大幅に上昇しました。 							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
	協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合		%	23.1	21.7	24.4		↗
	お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合		%	42.7	51.5	52.3		↗
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況								
「大学連携調査研究助成事業」 「大学連携学生地域活動支援事業」 補助事業本数		件	6	9	11		↗	
「国際交流情報提供事業」 国際交流員が携わった地域国際化のための講座・イベント等の参加者数		人	895	964	1,096		↗	

政策展開の方向性

効率的な行政サービスの執行と健全な財政の確保により、市の基礎自治体としての機能を充実させ、自主・自立の市政運営を推進します。また、市政の透明性を確保するとともに、市民と市の情報共有を図るため、広報広聴の充実を図り、情報公開や個人情報保護制度を適正に運用します。
さらに、男女共同参画による市政運営を推進するために、男女平等意識の醸成に努めます。

平成27年度の取組状況報告（前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載）

09-01 自主・自立の市政運営の推進

・第6次江別市総合計画の成果をPDCAサイクルを用いて継続的に向上させていくため、まちづくり政策と未来戦略について行政評価に取り組みました。併せて、平成26年度の江別市行政評価外部評価委員会での検討結果に基づき、えべつ未来戦略の戦略3の各事業に対して外部評価を実施しました。
・「江別市行政改革大綱」に基づく「行政改革推進計画」の進行管理をしながら、行革項目の着実な実行と新たな課題に向けた検討を進めました。
・管内8市町村で構成される札幌広域圏組合において、職員研修事業、情報発信事業、観光資源の掘り起こしに係る事業など多分野にわたる連携事業を実施したほか、近隣市交流（江別市、厚別区、北広島市）で、各種事業を通して市民レベルの交流を行いました。

09-02 透明性と情報発信力の高い市政の推進

・市民と行政の情報共有化の推進に当たり、広聴に関する情報処理の迅速化、ワンストップサービスでの対応、広報誌を通じて広聴制度についてのPRを行いました。広聴制度の充実を図るための人材配置や、公益性の高い意見に対する広報誌への積極的な掲載、市ホームページでの速報性を心掛けました。
・江別市の認知度とイメージを高めるための取組を総合的・戦略的に実施するため、「江別シティプロモート推進協議会」を活用して、SNSなど様々な媒体により情報発信するなど、市民協働を生かしたプロモーションを実施しました。「江別市シティプロモート推進協議会」との連携を強化し、民間で行っているフェイスブックの市への活用を進めたほか、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用し、市民一人一人が江別市の宣伝マンとなって協力してもらえるよう、市民ブロガーの育成など、情報発信についての新たな取組も行いました。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
市政運営に満足している市民割合	%	64.7	59.4	62.7		↗
行政情報の共有化を感じる市民割合	%	72.7	65.8	69.4		↗
男女が平等だと思う市民割合	%	48.7	44.3	45.1		↗

企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況

「行政評価推進事業」 まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合	%	—	40.7	54.2		↗
計画的に成果が上がっている事務事業の割合	%	93.0	89.5	90.4		↗
「広報えべつ発行事業」 広報えべつを読んでいる市民の割合	%	84.8	87.8	88.5		↗

2. えべつ未来戦略(企画政策部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 ともにつくる協働のまちづくり	■1B 大学が活躍するまちづくり 「大学版出前講座支援事業」(企画課) 「大学連携調査研究助成事業」(企画課) 「大学連携学生地域活動支援事業」(企画課)
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	■3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり (えべつ版コンパクトなまちづくり) 「公共交通利用促進対策事業」(政策推進課) 「大麻地区住環境活性化事業」(政策推進課)
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	■4A ニーズにあわせた効果的な情報発信 「ウェルカム江別事業」(広報広聴課) 「えべつシティプロモーション事業」(政策推進課)

3. 企画政策部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	573,222	158,576			
	特別会計 (B)	0	0			
	合計 (A+B)	573,222	158,576			
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	28	30			
	平均単価 (b)	7,853	7,764			
	人件費 (a×b)	219,884	232,920			
総 額		793,106	391,496			